

鳥取港振興会 ニュース

港湾だより79号

(令和7年3月発行)



写真：第2防波堤延伸事業 ケーソン製作状況（R7.2月撮影）

INDEX

- 鳥取港主要航路切替事業 進捗情報
- 大型クルーズ客船に対応する係船柱整備
- 鳥取港重要港湾指定50周年
- 鳥取港重要港湾指定50周年イベント
- 令和6年鳥取港港湾統計年報【速報値】
- 海運セミナー 2025を開催します
- クルーズ客船が寄港します
- 郵船クルーズ(株)が鳥取港を視察
- 令和7年度鳥取港利用時の支援制度
- 山陰近畿自動車道整備推進決起大会

発行:鳥取港振興会

クルーズ客船が寄港します！



3年連続
3回目

①クルーズ客船「ル・ソレアル」

令和7年6月1日(日)入港時間6:30出港時間18:00

◎クルーズ名:日本の伝統文化の象徴

西日本ハイライトクルーズ(大阪発・舞鶴着12泊13日)

5/22(木)大阪発-5/23(金)鳥羽-5/24(土)新宮-5/25(日)姫路-
5/26(月)宮島-5/27(火)別府-5/28(水)釜山-5/29(木)唐津-
5/30(金)萩-5/31(土)出雲-**6/1(日)鳥取**-6/2(月)伊根・宮津-
6/3(火)舞鶴着

クルーズ客船「ル・ソレアル」の概要

・船社:ポナン[フランス]
・乗客定員:264名

・総トン数/全長:10,700ト/142m



令和5年5月以来
2年ぶり

②クルーズ客船「にっぽん丸」

令和7年6月20日(金)入港時間8:00出港時間18:00

◎クルーズ名:隠岐・鳥取クルーズ4日間

(新潟発着3泊4日)

6/18(水)新潟発-6/19(木)隠岐(浦郷)-**6/20(金)鳥取**-6/21(土)
新潟着

クルーズ客船「にっぽん丸」の概要

・船社:商船三井クルーズ株式会社[日本]

・総トン数/全長:22,472トン/166.65m

・乗客定員/422名

鳥取港振興会では観光振興や地域経済の活性化につなげるとともに、国内外からさらに選ばれる鳥取港となるため、今後も関係者と連携しながら、クルーズ船客寄港誘致を通じた地域の魅力向上を目指します。

～「飛鳥Ⅲ」誘致へ向けて～ 郵船クルーズ(株)が鳥取港を視察

郵船クルーズ(株)は、令和7年7月20日に新規就航するクルーズ客船「飛鳥Ⅲ」の寄港地候補である鳥取港の現地調査のため、令和6年10月9日に同社の航海士が来県しました。

また、「飛鳥Ⅲ」関連番組の制作に向けて、視察風景の撮影も行われました。



鳥取港の岸壁を調査する航海士(左から2番目)



鳥取砂丘の視察風景を撮影

鳥取港主要航路切替事業 進捗情報

【事業説明】

鳥取港では、令和2年度の港湾計画改訂において、主航路を千代航路から西浜航路に切り替えることとし、事業を進めています。

千代川の河口付近に位置する千代航路周辺は、冬季風浪等により航路内に砂が堆積し大型船の航行に支障が生じていることから、毎年春先に千代航路の維持浚渫を実施し、航路水深の維持を図っている状況です。更に、近年では、台風や豪雨災害による航路埋塞、泊地閉塞が発生し、災害復旧のため緊急工事を実施している状況です。また、年間を通じて安全に荷役作業を行うための港内の静穏を確保することも課題となっています。

このため、航路等の埋塞を防ぐと同時に港内への波の侵入を防ぐ防波堤の延伸等の整備を行い、主航路を千代航路から西浜航路への切り替えに向けた事業を推進しており、下記の手順で航路切替を予定しています。

- ①第1防波堤の延伸(港内静穏度の確保)
- ②第3防波堤の撤去(西浜航路幅の確保)

<航路切替>

- ③第2防波堤の延伸(港内静穏度の確保)

【進捗状況】

現在、第1防波堤延伸(直轄事業)及び第2防波堤延伸(県事業)を実施中であり、第2防波堤においては、防波堤3函を陸上製作中です。西浜航路への航路切替後に早期に千代航路を閉じるための準備を進めています。

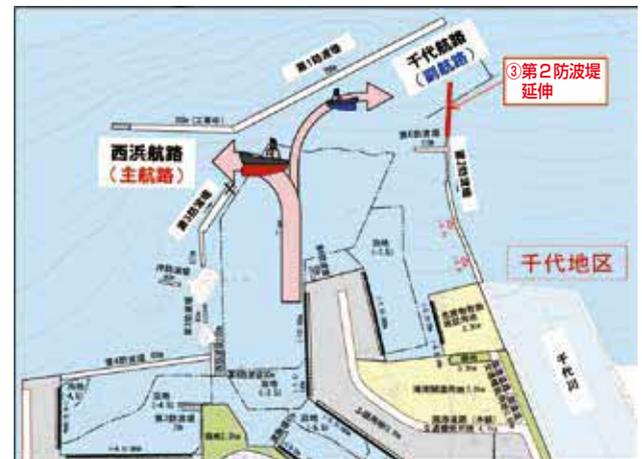
第2防波堤延伸 ケーソン製作状況



現就航船への対応



土砂流入防止対策 静穏度確保



大型クルーズ客船に対応する係船柱整備

これまでに鳥取港に寄港した最大のクルーズ客船は「ぱしふいっくびいなす」(船長183.4m 総トン数26,594t)です。これを上回る5万トンクラスのクルーズ客船の寄港を実現するため、令和5年度に実施した船舶航行安全検討によって必要と判断された3号岸壁係船柱を整備しています。寄港可能なクルーズ客船の拡大を図り、より多くのクルーズ客船寄港を目指します。

【整備内容】

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1,000kN係船直柱 | 1基(新設) |
| 500kN係船曲柱 | 5基(250kN→500kNへ強化) |

【整備スケジュール(予定)】

- | | |
|------|------|
| R7.6 | 工事着手 |
| R7.8 | 工事完了 |

鳥取港重要港湾指定50周年

1 重要港湾指定50周年

鳥取港は、かつては賀露港として知られ、古くから朝鮮半島、出雲、隠岐、但馬方面などの交通の要衝として発展してきました。昭和50年に重要港湾に指定され、今年50周年を迎え、地域の発展を海から支えています。

2 重要港湾としての整備

鳥取港は、昭和50年に重要港湾に指定され、昭和51年に港湾計画を策定し、平成2年には10,000トン岸壁1バース、5,000トン岸壁3バース、危険物取扱施設用地などを有する千代地区が完成し、物流の拠点として機能の充実が図られました。また、漁業関連施設の充実を図るために整備を進めてきた西浜地区は、平成11年に漁港区として供用を開始しています。

令和2年度の港湾計画改訂では、物流機能として「輸送の効率化、多様性による地域産業を振興する港」を目指し、人流機能として「賑わい・憩い空間の形成による交流拠点」を目指し、防災機能として「防災と安全性を備えた自然災害に強い港」を目指しており、現在は主要航路切替事業に取り組んでいます。

供用以来、砂利・砂などの建設関連貨物を主に扱っており、平成12年から凍結防止剤、平成28年からバイオマス燃料用のPKSの輸入も開始し、地域を支える港湾として利用されています。

周辺的高速道路整備について、平成25年3月には鳥取自動車道が全線開通され、令和元年5月には山陰道の一部である鳥取西道路が供用開始されました。また、山陰近畿自動車道(南北線)の整備に伴い、鳥取港付近にインターチェンジが設置される計画となっているなど、鳥取港周辺の物流機能強化が見込まれます。

鳥取港は、鳥取県東中部、兵庫県北部、岡山県北部の物流及び交流拠点として今まで以上に期待されています。

鳥取港重要港湾指定50周年イベント

今回開催する記念イベントは、港湾の持つ機能と重要性を広く周知し、利活用を促進することで、地域経済の発展と、賑わいを創りだすものです。令和7年5月31日(土)に、記念式典、国土交通省中国地方整備局港湾業務艇「はくしゅう」による乗船ツアー、自衛隊艦艇及び災害支援装備の一般公開、製作中のケーソンを利用したお絵かき大会などの港湾ならではの催しのほか、地元高校生と自衛隊音楽隊によるミニコンサート、地元高校生による書道パフォーマンスなど、地域と連携した様々な催しを開催します。

重要港湾指定50周年記念イベント当日には、鳥取・賀露みなとオアシスの主催企画として、地元出演者によるパフォーマンスステージや、出前かっこ館などの体験コーナーを実施予定であり、今後も地域と鳥取港を結びつけ、賑わいづくりを先導していただくことを期待しております。



地域の発展、海から支える鳥取港

令和6年鳥取港港湾統計年報 【速報値】

鳥取港の令和6年取扱貨物量は473,747トンで、前年から83,060トンの増(対前年21.3%増)となりました。令和5(2023)年に一時的に減少した全体貨物量が、令和4(2022)年並みまで回復しました。

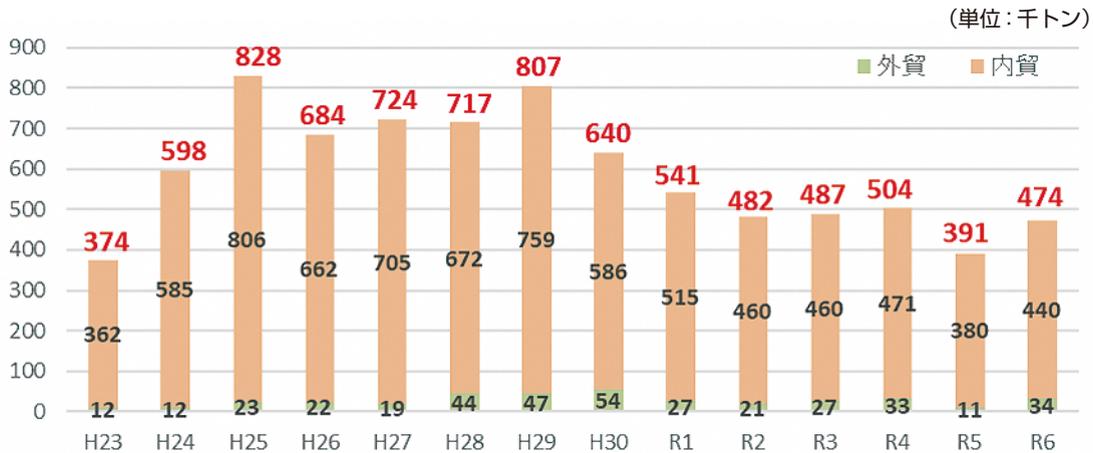
内貿貨物量は439,860トンで、前年から59,894トン増(対前年15.8%増)でした。主な要因として、砂・砂利や石灰石の移入が増となりました。

外貿貨物量は33,887トンで、前年から23,166トン増(対前年216.1%増)でした。主な要因として、薪炭(PKS)の輸入が増となりました。

■鳥取港の年間取扱貨物量

(単位：トン)

年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
全体取扱貨物量	481,568	486,893	503,886	390,687	473,747



■鳥取港の項目品別貨物量

(単位：トン)

		内貿			外貿					
		品種別	R4年	R5年	R6年	品種別	R4年	R5年	R6年	
移出	水		2,510	2,499	2,412	-	-	-	-	
	重油		1,043	1,031	1,061	-	-	-	-	
	石油製品		16	13	4	-	-	-	-	
	移出計		3,569	3,543	3,477	輸出計	0	0	0	
移入	砂・砂利		262,217	234,320	263,910	薪炭(PKS)	10,246	0	19,468	
	石灰石		124,580	77,200	106,980	化学薬品(凍結防止剤)	23,081	10,721	14,419	
	セメント		55,380	42,190	41,537	-	-	-	-	
	重油		21,034	19,409	21,595	-	-	-	-	
	水産物		1,968	1,884	1,011	-	-	-	-	
	化学薬品		1,811	1,420	1,350	-	-	-	-	
	移入計		466,990	376,423	436,383	輸入計	33,327	10,721	33,887	
内貿の合計			470,559	379,966	439,860	外貿の合計		33,327	10,721	33,887

海運セミナー2025を開催します

海運セミナー2025「海運で開運」～もうひとつの輸送手段～を開催します。境港利用による、輸送リードタイム・コスト・CO₂削減といった改善効果事例と、リーファーコンテナを使用した混載輸送による試験輸送結果についてお話しいただきます。参加費無料です。参加申し込みについては、港湾課ホームページを御確認ください。経営戦略の一手に、是非、ご参加ください。

開催日時 令和7年5月16日(金) 14時30分～15時30分
鳥取港振興会総会に引き続き開催します

会場 白兔会館 2階 らいちょう
(鳥取市末広温泉町556)

講演内容

- 持続可能な社会づくりに向けた当社物流の取り組み(ダイヤゼブラ電機株式会社)
- 境港の農水産物の輸出促進に向けた試験輸送(国土交通省中国地方整備局境港湾・空港整備事務所)
- 境港・鳥取港における支援制度について(境港貿易振興会、鳥取港振興会)

令和7年度 鳥取港利用時の支援制度

貿易

●鳥取港外国貿易利用拡大補助金を改正

<主な改正内容>

- 新たに外国貿易に取り組む荷主等を支援するため、荷主等にとって新規貿易貨物の場合は補助額を50万円から100万円に増額します。
- 増加貨物の考え方を、貨物量が「前年度及び過去3か年度の平均実績」から「過去の実績(年度ベース)を上回る場合」にします。

<改正後の支援内容>

- 港湾荷役経費の補助(1/2補助) <補助上限額>
 - ① 荷主等にとって新規貿易貨物の場合……………100万円
 - ② 荷主等の貿易貨物量が増加した場合……………50万円
 - ③ 上記①及び②の該当荷主等が同一年度内に継続して輸出入を行う場合……………30万円
 - ※1.①及び②は年度内の1取引とし、併給はありません。
 - ※2.新規貨物の判断は、実行関税率表の分類単位で行います。
 - ※3.貨物量増加は、過去の実績(年度ベース)上回る場合とします。
 - ※4.③の補助回数は、年間4回までとします。見本品や試供品等の輸出入は対象外とします。
 - ※上記①及び②の補助を受けた荷主等は、同貿易に係る港湾施設使用料が減免されます。
(鳥取港湾事務所へ別途申請が必要です。)
 - ① 岸壁使用料、荷役機械・上屋・野積場使用料を、最長10日間免除します。
 - ② 原木輸出における野積場の使用料は最長30日間免除し、免除する野積場の面積の上限は6,000㎡です。

クルーズ船

- 鳥取港利用促進事業補助金 <補助上限額>
 - ・タグボート回航料の補助(2隻まで)……………70万円
 - ・タグボートによる離着岸作業料の補助(1/2補助、2隻まで)……………37万円
 - ・水先人乗船に係る費用の補助……………40万円
 - ・タグボートの燃料価格調整金……………上限無し

山陰近畿自動車道整備推進決起大会

鳥取港は、山陰近畿自動車道・山陰道・鳥取自動車道の高規格幹線道路網の東西南北の結節点に位置しています。これらの道路網の整備が進むことにより周辺の物流・人流が発展し、鳥取港が地域産業の振興や交流の拠点として重要な役割を果たすことが期待されています。

そのため、令和7年1月21日に山陰近畿自動車道沿線の鳥取県、兵庫県、京都府の3府県と国会議員連盟が主催する山陰近畿自動車道整備推進決起大会が開催され、国会議員、3府県知事、県会議員や地元関係者等約250名が集い、山陰近畿自動車道の必要性を訴えました。

決起大会では、石破総理からの「地域住民の長年の悲願である、全線開通に向け、ご参集いただきました皆様の思いをしっかりと受けとめ、全力で頑張ってください。」とのメッセージの披露がありました。また、平井鳥取県知事や長戸岩美町長(鳥取港振興会監事)等が地元からの意見発表を行い、深澤鳥取市長(鳥取港振興会会長)による「頑張ろう」三唱の発声で、参加者全員、山陰近畿自動車道の整備を訴えました。



鳥取港振興会事務局

〒680-8570
鳥取市東町1丁目220番地(県本庁舎5階)
TEL(0857)22-1836/FAX(0857)22-1848
E-mail : tottoriport@tea.ocn.ne.jp